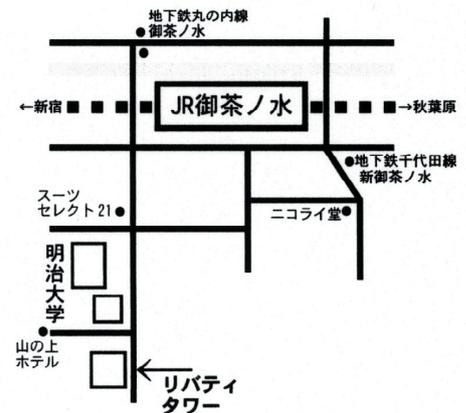




貧困と監獄 ～厳罰化を生む「すべり台社会」～

日時：**5月16日（土）** 午後1時30分～午後4時30分

場所：明治大学リバティタワー 1階
1011 教室
(御茶ノ水駅、神保町駅徒歩5分)



パネリスト：

- 湯浅誠さん（反貧困ネットワーク事務局長 派遣村村長）
- 浜井浩一さん（龍谷大学教授 刑事政策、犯罪学、統計学）
- 森千香子さん（南山大学准教授 都市社会学）
- 菊池恵介さん（東京経済大学ほか非常勤講師 哲学・思想史）

コーディネーター：海渡雄一（監獄人権センター副代表）

主催：監獄人権センター／アムネスティ・インターナショナル日本

参加費用：800円

新自由主義がもたらした社会的不安が厳罰化政策の根源

アメリカには現在200万人を超える受刑者がいます。経済のグローバル化・労働市場の規制緩和を推し進め、福祉国家を解体してきた新自由主義改革は新たな貧困層を生み出し、中間層には深刻な社会的不安感を与えています。罪を犯した人々を私たちの仲間と見て、その社会への復帰を社会全体の課題とみるのではなく、「私たち」とは根本的に異なる存在として社会から隔離してしまう厳罰化政策がアメリカ発で世界に広められています。ここ日本においても、深刻な犯罪は減少しているのに、重罰化の進展によって過剰拘禁が起きています。

貧困の現場から見えてくる雇用破壊、福祉の貧困と弱者に対する厳罰化

2008年6月に起こった秋葉原の無差別殺傷事件では、背景にある「残酷な派遣労働」が注目されました。これが貧困と社会的な排除を原因とする犯罪なのであれば、厳しく罰するだけではこのような犯罪をなくすことはできないでしょう。社会的には福祉政策の充実が、罪を犯した人に対しては人としての誇りと自信を回復し、社会に復帰できる力を与えるような処遇が必要とされているのではないのでしょうか。

裏面につづく

問合せ：監獄人権センター

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-13-8F 菊田法律事務所気付

TEL&FAX：03-3259-1558 E-Mail：cpr@jca.apc.org URL：http://www.jca.apc.org/cpr/

どうやって厳罰化の流れを押しとどめるのか

フィンランドの犯罪学者ラピーゼッパラ博士は、各国の受刑者率と犯罪率が「互いに独立した現象であること、つまり、相関がないこと実証的に確認している。その上で、受刑者率と所得格差や福祉予算等を比較して、『犯罪との戦い』よりも『貧困との戦い』を重視する福祉的国家ほど犯罪者に対して寛容であり、受刑者率が低いことを確認している」(CPR ニュースレター第57号より)。日本で起きている厳罰化の原因とこれを止めるための有効な政策をパネラーの皆さんでディスカッションをしたいと考えています。

講師紹介



湯浅 誠

(NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長、反貧困ネットワーク事務局長他)

90年代より野宿者(ホームレス)支援に携わる。「ネットカフェ難民」問題を数年前から指摘し火付け役となるほか、貧困者を食い物にする「貧困ビジネス」を告発するなど、現代日本の貧困問題を現場から訴えつづける。著書に『反貧困』(岩波新書、2008年4月)、『貧困襲来』(山吹書店、2007年)、『本当に困った人のための生活保護申請マニュアル』(同文館出版、2005年)など。『世界』『論座』『東洋経済』などにも寄稿多数。ワーキングプアや貧困・格差問題を扱ったメディアへの登場でも存在感を示す。現在、反貧困のためのネットワーク構築にも力を入れている。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。



浜井 浩一

(龍谷大学法科大学院教授、臨床心理士)

少年鑑別所、少年院、刑務所、保護観察所などの犯罪者処遇現場のほか、矯正局、法務総合研究所、在イタリア国連犯罪司法研究所を歴任。著書『犯罪白書』(執筆を担当)、『刑務所の風景』(日本評論社)、『犯罪不安社会 誰もが「不審者」?』(光文社新書)など。早稲田大学教育学部卒業。

● 菊池恵介 (東京経済大学(人権の歴史と理論)他非常勤講師)

哲学・社会思想史専攻。共著に『歴史と責任——「慰安婦」問題と一九九〇年代』(青弓社、2008年)、共訳にロイック・ヴァカン『貧困という監獄』(新曜社、2008年)など。パリ第12大学大学院博士課程修了(哲学博士)。

● 森千香子 (南山大学准教授)

社会学専攻。フランスの移民政策を研究。著作に「避難民の救済は可能は?」(『市民のアソシエーション』太田出版、2003年)、「施設化する公営団地」(『現代思想』2006年12月号)、「郊外団地と『不可能なコミュニティ』」(『現代思想』2007年7月号)など。

※お二人は『貧困という監獄』(ロイック・ヴァカン著)の共同翻訳者です。

